報告事項5

経済振興委員会報告資料

国史跡鴻臚館跡北館東門等復元整備工事 請負契約の締結について

令和7年9月 経済観光文化局

国史跡鴻臚館跡北館東門等復元整備工事請負契約の締結について

1 契約概要

1 契約概要					
工事件名	国史跡鴻臚館跡北館東門等復元整備工事				
	○国史跡に指定されている「史跡 鴻臚館跡」の北館	摘要(別途工事)			
工事概要	 ・北館東門 本造平屋建て 建築面積:57.66㎡ ・区画塀 鉄骨造(一部木造) 長さ63.72m 	・土木工事 ・電気設備工事 ・造園工事 ・その他工作物設置工事			
工事場所	福岡市中央区城内1-1	・そのパピエイトが改造工事			
工事期間	令和7年8月19日から令和9年2月22日				
入札方法	総合評価落札方式による制限付一般競争入札				
開札年月日	令和7年8月4日				
契約年月日	令和7年8月18日				
落札者	岩崎建設株式会社				
契約価額	482,141,000円 (うち消費税及び地方	消費税相当額 43,831,000円)			
予定価格	482,141,000円 (うち消費税及び地方	消費税相当額 43,831,000円)			
失格基準価格	439,134,300円 (うち消費税及び地方	消費税相当額 39,921,300円)			

【参考】入札参加者一覧

区分	名称	備考
地場	岩崎建設株式会社	
地場外	松井建設株式会社 九州支店	

2 入札結果

(1)技術評価点の内訳

	評価項目			配点
	提案項目 技術提案 項目1 項目2		足場作業時における労働災害防止対策について [工事特性] 本工事は、外部足場上で多くの作業を伴う工事である。	10
項目			重機作業時における労働災害防止対策について [工事特性] 本工事は、土工事や建方工事で多くの重機作業を伴う工事である。	10
			小計 a	20.0
			工事成績の実績	4
	施	企 業 の	工事成績優良業者の表彰実績	1
	能力		同種工事の施工実績	1
企		-	建設業労働災害防止協会加入状況	1
企業評価項目	の	技	資格の保有状況	1
価項	の能力	者	同種工事の施工経験	1
目	社会貢献	± 25 5	社会貢献·政策貢献	2
	説 災害対策協力企業 地域 本店所在地 社 信企会・頼業性の 競争入札参加停止措置状況		災害対策協力企業	2
			本店所在地	1
			(-2)	
	小計 b			14.0
加算点 a+b				34.0
	標準点 c 100			
	技術評価点A(a+b+c) 134.0			

[※]配点欄の企業の信頼性・社会性(-2)は、企業評価項目の小計に含まない。

(2)入札価格

入札価格 B (単位:円) (消費税及び地方消費税相当額を除<価格)

(3)評価値

評価値 A/B×α (αは数値調整のための係数)

(予定価格1億円以上10億円未満の場合、α=100,000,000)

様式2

	落札者						(単位:点)
名称	岩崎建設株式会社		名 称	松井	建設株式	大会社 九州支店	
N X	 <u>[</u> 分	提案数		区分		提案数	
A(2	2.0)	0		А	(2.0)	0	
B(1	1.5)	1		В	B(1.5) 0		
C(1	1.0)	3	4.5	С	(1.0)	2	2.0
	0.5)	0			(0.5)	0	
	「点なし) 	1			算点なし) (a.a.)	1	
	2.0)	0			(2.0)	0	
	1.5) 1.0)	0	6.0		(1.5) (1.0)	2	4.0
	0.5)	0	0.0		(0.5)	0	4.0
	<u>·</u> 点なし)	1			(c.c) 算点なし)	0	
		10.5	5			6.0	
		3.06	7	1.400			
		1.00	0	加算点なし			
		1.00	0	0.500			
	1.000			1.000			
1.000			1.000				
		加算点程	なし	加算点なし			
		2.00	0				
1.500			加算点なし				
1.000			加算点なし				
1.000 減点なし							
減点なり 11.56 7			減点なし 3.000				
22.067			3.900 9.900				
100			100				
122.067					109.9	000	

438,310,000	407,000,000
27.8494	27.0024

3 落札者の技術提案の概要

項	足場作業時における労働災害防止対策について 本工事は、外部足場上での作業を伴う復元工事である
目	本工事は、外部足場上での作業を伴う復元工事である

本工事は、外部足場上での作業を伴う復元工事であることから、労働者の墜落防止や資機材の落下防止など、足場 作業時の労働災害防止対策が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。

重機作業時における労働災害防止対策について

| **自** 本工事は、土工事や建方工事で重機作業が多くなることから、重機と作業員の接触や重機の転倒事故など、重機作業時の労働災害防止対策が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。

(参考)評価項目の内容

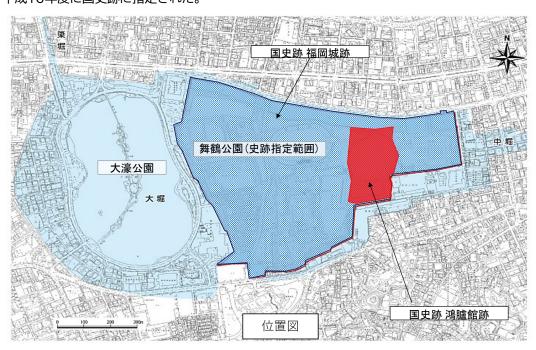
(1)企業評価項目

評価項目		評価内容
	工事成績の実績	平成27年4月1日から令和7年6月11日までの間に、本市(水道局、交通局含む) 又は福岡市施設整備公社(以下、「本市等」という)が評定通知した建築工事の任意 3件の平均点によって評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
企業の施工能力	工事成績優良業者の表彰実績	令和5年6月12日から令和7年6月11日までの間に、本市等が建築工事において、工事成績優良業者として表彰を行う旨通知した工事の実績により評価する。ただし、表彰日の翌日から入札公告日前日までの間に競争入札参加停止の措置を受けた期間がある場合は、評価の対象としない。(JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
記 能 力	同種工事の施工実績	平成27年4月1日から令和7年6月11日までの間に竣工した、発注者から直接請け負った工事で、国又は地方自治体が指定した指定文化財建造物又は国の登録を受けた登録有形文化財(建造物)の復元整備の施工実績により評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	建設業労働災害防止協会加入状況	令和7年4月1日から令和7年6月11日までの間に、建設業労働災害防止協会へ加入していれば優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
技術	資格の保有状況	入札公告日時点で、入札者が提示する配置予定技術者の監理技術者資格者証の 保有期間により評価する。
一者の能力	同種工事の施工経験	入札者が提示する配置予定技術者に平成27年4月1日から令和7年6月11日までの間に竣工した、発注者から直接請け負った工事で、国又は地方自治体が指定した指定文化財建造物又は国の登録を受けた登録有形文化財(建造物)の復元整備の施工経験(監理技術者、主任技術者、現場代理人での従事に限る)があれば優位に評価する。
社会貢献	社会貢献·政策貢献	入札公告日時点で、福岡市から「障がい者雇用促進事業」、「環境配慮型事業所支援事業」、「次世代育成・男女共同参画支援事業」、「協力雇用主支援事業」、「消防団協力事業所支援事業」、「ふくおか「働き方改革」推進企業認定事業」「Well-being及びSDGs推進事業」、「地域活動貢献企業認定事業」の該当要件で認定を受けている企業を評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
地域貢献	災害対策協力企業	令和7年4月1日時点における福岡市と防災活動に関する協定を締結した団体に 所属し、当該業種の特性を活かした防災活動を行う企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	本店所在地	入札公告日時点で、本市に本店が所在し、本市競争入札有資格者名簿に地場企業 として登載された期間(地場としての継続期間)が長い企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
信企 社頼業 会性の 性・	競争入札参加停止措置状況	競争入札参加停止等の措置を受けた者で、入札公告日時点で、競争入札参加停止期間満了日の翌日を起算日とする競争入札参加停止期間と同期間が係る場合に、評価点を減点する。 (JV案件:構成員の中に対象者が含まれる場合は、一律2点(E評価)の減点とする)

【鴻臚館とは】

鴻臚館(筑紫館)とは、飛鳥〜平安時代にかけて博多湾岸に設置された外交・交易施設で大宰府の対外交渉の拠点窓口として機能していた。そこは海外からの使節を受け入れるための迎賓館であり、海外へ旅立つ遣唐使たちも滞在していた。

平安時代末にはその機能が失われ、長らく所在が分からなくなっていたが、平和台球場改修工事の際に発見され、平成16年度に国史跡に指定された。

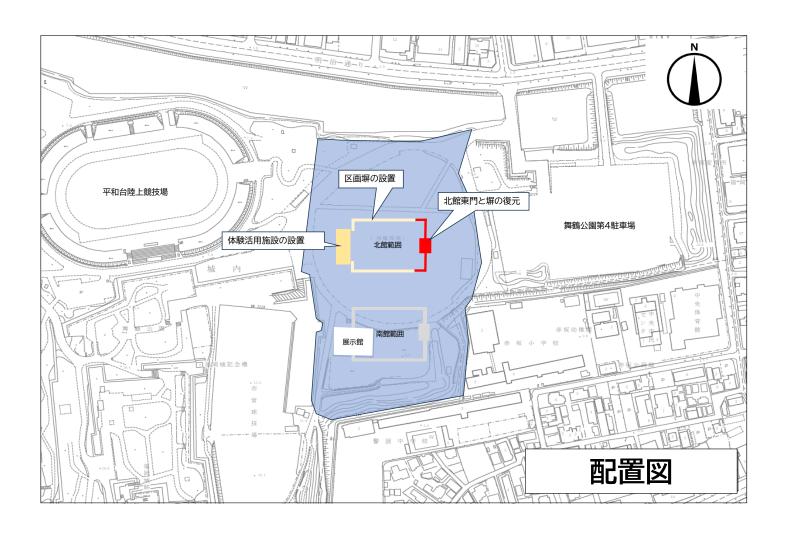


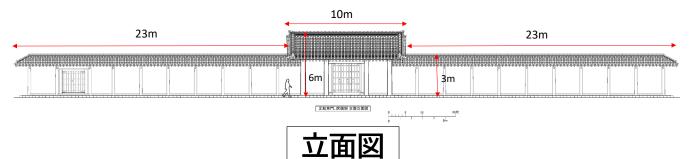
鴻臚館整備・活用事業の進捗状況

平成31年に策定した「国史跡鴻臚館跡整備基本計画」に基づき、市民が歴史に親しみ、来訪者の観光・集客の拠点となるよう、シンボルとなる鴻臚館北館の東門や塀、地形等の復元整備を推進するもの。



史跡鴻臚館跡復元整備イメージパース





○北館東門と塀の復元

国際都市として最初に賓客を迎え入れた東門とそれに連なる塀の東辺を復元する。

北館東門と塀の概要

- ・東門は直径40cmの柱12本による木造の掘立柱建ち、本瓦葺きの八脚門、全高6m・幅10mで復元。
- ・東門に接続する北館を囲む塀の東辺は、漆喰塗の白壁で直径30cmの柱22本による木造掘立柱建ち、瓦葺きで高さ3m、南北それぞれ23m。 全体で56m(東門含む)で復元。



北館東門復元イメージパース